

当科にて外科的矯正治療を受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学千葉歯科医療センター矯正歯科において下記の内容にて研究を行うこととなりました。内容をお読みになり、ご理解いただけましたら、研究にご協力くださいますようお願いいたします。

1. 研究課題名

骨格性上顎前突症の外科的矯正治療における長期経過

2. 研究目的

上顎と下顎の前後的な位置の差がある患者様に対しては、手術で上下顎のバランスをとり正常なかみ合わせを得る治療が行われています。この治療は、治療後の後戻りが生じやすいと言われております。しかしながら、治療後の安定を追跡した調査はあまり行われておりません。

そこで、治療を終了したときからの安定を計測し、その結果を今後の患者様の治療の計画に反映させることを目的としています。

3. 研究方法

1996年4月から2016年4月までに、骨格性上顎前突症で外科的矯正治療を受けられ治療終了2年以上経過した患者様およそ30名の試料を使用させていただきます。試料は、患者様のレントゲン写真、CT写真および歯型です。治療前、治療後およびその後2年以上のメンテナンス時の試料を計測します。これらの試料は、すでに治療のために取ったものを使用するため新たに取る必要はありません。

4. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

本研究にご協力いただくことで何らかの負担が生じることはございません。また、今後の治療に対してもリスクや利益が生じることはございません。

5. 研究参加に関する事項

ご自身の試料を使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

6. 試料・情報の保管及び廃棄の方法と個人情報等の取扱いについて

患者様の試料は、研究責任者の管理の下保管庫に厳重に保管されております。この中から研究に必要な試料を取り出しますが、顔や歯並びの値のみ記録しますので、住所、氏名などの患者様の個人が特定される情報が入ることはありません。また研究に使用する試料は、研究責任者が責任を持って管理し、この研究以外で使用することはございません。本研究は、日本顎変形症学会、日本矯正歯科学会にて発表・論文発表を行う予定です。患者様の試料は、研究終了5年後に廃棄いたします

7. 倫理審査委員会の承認

本研究は東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

8. 本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

お問い合わせ先

東京歯科大学歯科矯正学講座

研究責任者 西井 康

連絡先 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-9-18

03-5275-1724